



タンザニア進出の背景と現在のビジネス概況

2023年5月18日
セントパーツ株式会社
種谷 謙一

会社概要

会社名:セントパーツ株式会社 設立年月日:2013年3月4日 資本金:3,000万円
所在地:岐阜県羽島市舟橋町出須賀2丁目1番地 代表者:種谷 謙一
<http://www.saintparts.co.jp/>

事業理念

高品質な自動車保有関連サービスと資源の有効活用を世界に浸透させる

- お客様、取引先、従業員すべてに利益を提供できる事業運営を目指します
- 世界規模での循環型社会形成を通じ、使い捨て社会の見直しに繋がります
- 世界中の人々が安くて安心な自動車保有サービスが受けられる社会の構築に繋がります

2013年3月 会社設立
2013年9月 工場操業開始
2015年1月 タンザニア子会社設置
2015年4月 タンザニアでの中古部品直接販売開始
2018年4月 タンザニアに支店設立 整備事業開始

沿革

- ・自動車解体
- ・自動車用中古部品輸出販売
- ・中古車輸出販売

事業内容

👉 海外での事業展開を主眼に設立した会社

当社にとっての海外事業の意義

1. 日系自動車メーカーの弛まぬ努力により確立された日本車ブランド
☐ 日本は中古車輸出大国(年間約150万台)
2. 世界中の自動車が存在する国では補修部品が必要
☐ 新車未普及の国々における不安定な補修部品のサプライチェーン
3. 日本が良質かつ安価な中古部品の発生源であることは不変
☐ 12メーカーが集中する島国ならではの特徴
4. 中東系外国人により形成された中古部品の世界的流通市場
☐ 日系企業との連携を進めることで変革の余地大



海外のお客様、日系関連事業者様、自社それぞれにメリットのある事業推進が可能

進出先としてのタンザニアの魅力

1. 拡大が見込まれる消費市場

→ 増加する人口、発展する経済

2. アフリカ内陸部も視野に入れたビジネス構築が可能な立地

→ 港を擁する大都市ダルエスサラームと、そのダルエスサラームを起点に構築される内陸部への物流網

3. 国民性に起因する治安の良さ

→ 駐在スタッフに対する快適な生活環境の提供

4. 日本製品への親しみと信頼

→ 確立された日本車市場が形成する日本製品へのイメージ

タンザニアでの自社の取り組み

日本人スタッフ4名、現地スタッフ25名で事業展開中

- 自社工場由来の自動車用中古部品、高品質な自動車用新品部品の日本からの直送販売
- 日本人自動車整備士が駐在し監修する自動車整備工場の展開
- 日系中古車輸出企業と連携した、中古車購入者に対するアフターサービスの提供
- 日本製自動車関連用品の提供（オイル・タイヤ・その他用品）
- 日系企業と連携した保税倉庫運營業務
- 日用品ショップ（日本の100円ショップ）の運営など